



半澤利貞

## 清津川分水問題が湯沢に与える影響について

### 質問

水を制する者は、国を制する。と言われ昔から水の問題が大きな問題と成り、現在十日町市と南魚沼市との間で政争が繰り広げられている。

国策で清津川から取水し魚野川に放流する形で発電が行われ湯沢と石打の二箇所発電し六日町の西地区は、塩沢地区から取水して稲作をしている現況である。

三俣の取り入れから芝原・大峰を通し鉄管路で下宿の発電所で発電している現状であり、大正7年1月9日トンネル工事の発破が原因とも思える雪崩の発生で158名もの尊い犠牲者を出している三俣地域。(今なら

大問題) 落差を利用して下宿は消火栓の恩恵もうけてきた。税金も町に入った。芝原では、横穴(斜工)から農耕・生活用の取水も受けた。以下三点について、答を求めます。

- 1 消火栓について
- 2 税収について
- 3 芝原の水利について

### 町長答弁

消火栓については既に町の上水に切替えた。税金は出力に関係無く建屋その他の資産税として代わり無く徴収する。芝原の用水は、2本の削井で農耕期間の対応をして貰っています。

## 各団体に交付する補助金等の報告について

### 質問

各団体では、事業計画・会計報告等を上部組織に報告している。任意団体とは言えフリップモーリスから21万の金が苗木代として寄付されていると聞くと緑の会の会員に聞くと全員に知らしめられていない。議員の中にも会員がいるが誰も知らない。監査員は指導出来ないか？

### 監査員答弁

町からの助成を受けている団体は報告されているが、緑の会は任意団体であり報告は無いし、義務も無いのでみではない。

## 清津川分水問題と各団体への補助金について



東京電力 湯沢発電所

一般質問